

北見市における景気動向調査報告書

< 第 II 四半期 >

北見商工会議所

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成23年10月17日

(2) 調査対象期間 平成23年7月～9月期実績および平成23年10月～12月期見通しについて調査した。

2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

3. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
製造業	30社	26社	86.7%
建設業	30社	28社	93.3%
卸売業	30社	22社	73.3%
小売業	35社	21社	60.0%
サービス業	25社	19社	76.0%
合計	150社	116社	77.3%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

Ⅱ . 概 況

《 全 体 の 動 き 》

平成23年度第Ⅱ四半期<7月～9月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」24.1、「悪化企業」40.5、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△16.4となっており、前年同期比(△37.6)との比較では21.2ポイントの好転傾向を示しました。また、前期調査<23年度第Ⅰ四半期>と比較してみると前回△22.4→今回△16.4と6.0ポイント好転を示しています。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値△38.5、建設業D・I値△3.6、卸売業D・I値9.2、小売業D・I値△47.6、サービス業D・I値0となっており、前年同期調査と比較すると、製造業で43.2ポイントの大幅なマイナスとなっているものの、建設業で64.5、サービス業で47.3、卸売業で34.2、小売業で4.6ポイントの改善となっており、特に建設業、卸売業、サービス業では大幅な好転となりました。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」14.8%「悪化企業」42.6%でD・I値△27.8と、前年同期見通し(△43.6)に比べ15.8ポイント好転していますが、数値は依然マイナスであり、予断を許さない来期見通しとなっています。

《 業 種 別 の 動 き 》

1) 製 造 業

生 産 高

前年比で「増加企業」19.2%、「減少企業」57.7%、D・I値△38.5と前年同期に比べ38.5ポイントの大幅な悪化を示しています。前年同期調査時に0まで改善したD・I値が再びマイナスに転じる結果となりました。

採 算

前年比で「好転企業」11.5%、「悪化企業」53.9%、D・I値△42.4と前年同期に比べ33.2ポイントの大幅な悪化を示しました。

来期見通し

業況D・I値△26.9、生産高D・I値△26.9、資金繰りD・I値△26.9と、前年同期に比べ全てのD・I値で悪化傾向を示し、厳しい来期見通しとなっています。

2) 建 設 業

完 成 工 事 高

前年比で「増加企業」28.6%、「減少企業」28.6%、D・I値0と、前年同期に比べ81.8ポイントの大幅な好転傾向を示し、前年同期調査時の大幅なマイナスからの改善となりました。

採 算

前年比で「好転企業」14.3%、「悪化企業」35.7%、D・I値△21.4と、前年同期に比べて60.4ポイントの大幅な好転傾向を示しています。

来期見通し

業況D・I値△32.1、完成工事高D・I値△39.2、資金繰りD・I値△35.8と前年同期と比べ全て大幅な好転傾向を示しているものの、未だ数値はマイナスであり、予断を許さない来期見通しとなっています。

3) 卸 売 業

売 上 高

前年比で「増加企業」40.9%、「減少企業」27.3%、D・I値13.6と、前年同期と比べ46.9ポイントの大幅な好転傾向を示し、D・I値がマイナスからプラスに転じる結果となりました。

採 算

前年比で「好転企業」22.7%、「悪化企業」22.7%、D・I値0と前年同期に比べ29.2ポイントの好転傾向を示しています。

来期見通し

業況D・I値△9.1、売上高D・I値△4.5、資金繰りD・I値△4.5と前年同期に比べ、資金繰りは若干悪化傾向にあるものの、売上高で45.6、業況で32.6ポイントの大幅な好転を示しています。

4) 小売業

売 上 高

前年比で「増加企業」9.5%「減少企業」47.6%、D・I値△38.1と前年同期に比べ5.3ポイントの好転傾向を示しています。

採 算

前年比で「好転企業」14.3%「悪化企業」61.9%、D・I値△47.6と前年同期に比べ8.5ポイントの悪化を示しています。

来期見通し

業況D・I値△33.4、売上高D・I値△23.8、資金繰りD・I値△38.0と前年同期と比べ、全てのD・I値が好転傾向を示しています。

5) サービス業

売 上 高

前年比で「増加企業」47.4%、「減少企業」47.4%、D・I値0と、前年同期に比べ42.0ポイントの大幅な好転傾向を示しています。「増加企業」と「減少企業」が共に5割弱の同数となっていることから、企業によって明暗の分かれる結果となったことが伺えます。

採 算

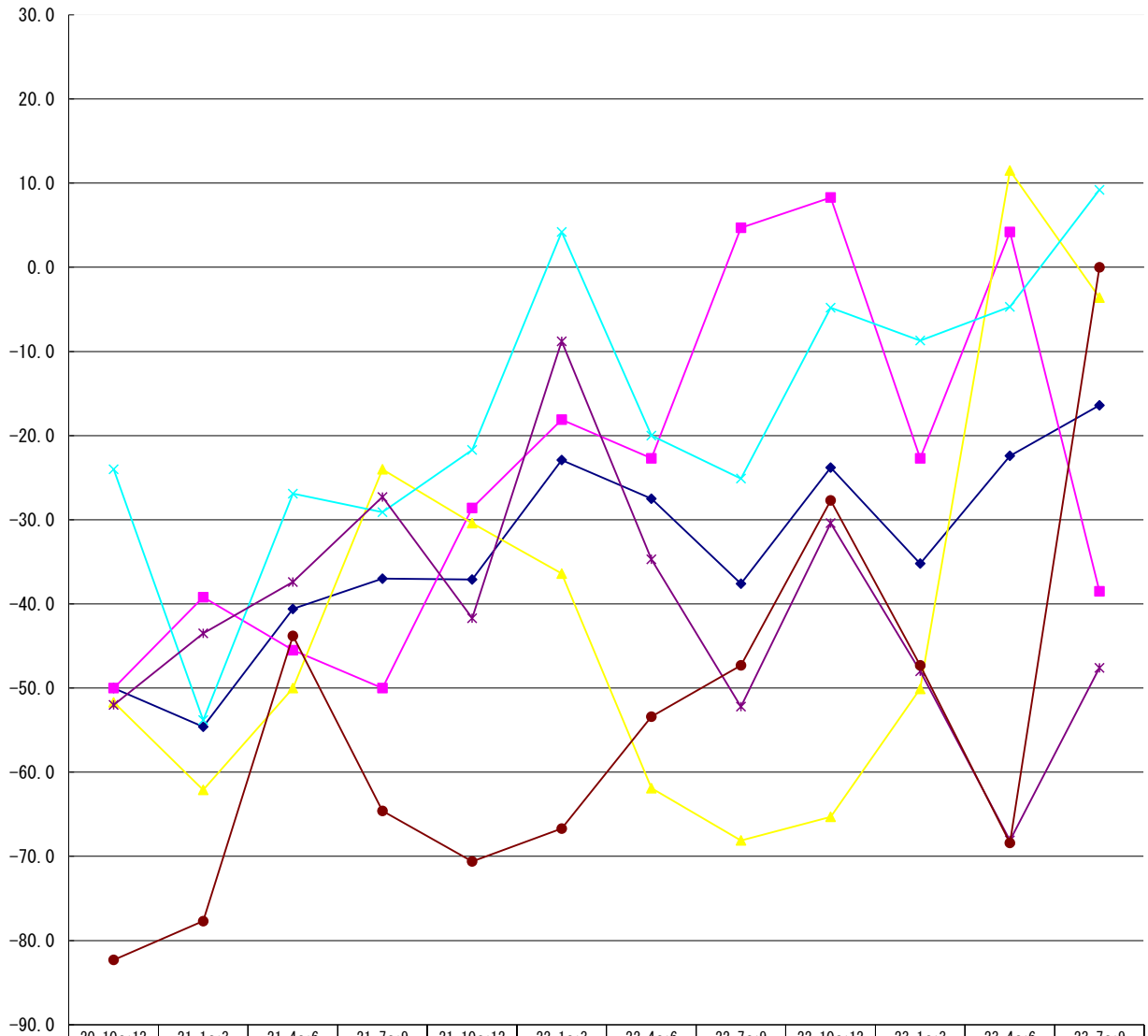
前年比で「好転企業」26.3%、「悪化企業」47.4%、D・I値△21.1と前年同期に比べ23.3ポイントの好転傾向を示しています。

来期見通し

業況D・I値△38.8、売上高D・I値△38.8、資金繰りD・I値△27.7と前年同期に比べ全てが好転傾向を示しています。

業況（前年同期比）

◆ 全業種
 ■ 製造業
 ▲ 建設業
 × 卸売業
 ✕ 小売業
 ● サービス業



	20.10~12 20年度Ⅲ	21.1~3 20年度Ⅳ	21.4~6 21年度Ⅰ	21.7~9 21年度Ⅱ	21.10~12 21年度Ⅲ	22.1~3 21年度Ⅳ	22.4~6 22年度Ⅰ	22.7~9 22年度Ⅱ	22.10~12 22年度Ⅲ	23.1~3 22年度Ⅳ	23.4~6 23年度Ⅰ	23.7~9 23年度Ⅱ
◆ 全業種	-50.0	-54.6	-40.6	-37.0	-37.1	-22.9	-27.5	-37.6	-23.8	-35.2	-22.4	-16.4
■ 製造業	-50.0	-39.2	-45.5	-50.0	-28.6	-18.1	-22.7	4.7	8.3	-22.7	4.2	-38.5
▲ 建設業	-51.7	-62.1	-50.0	-24.0	-30.4	-36.4	-61.9	-68.1	-65.3	-50.1	11.5	-3.6
×	-24.0	-53.8	-26.9	-29.1	-21.7	4.2	-20.0	-25.1	-4.8	-8.7	-4.7	9.2
✕ 小売業	-52.0	-43.5	-37.4	-27.3	-41.7	-8.8	-34.7	-52.2	-30.4	-48.0	-68.1	-47.6
● サービス業	-82.3	-77.7	-43.8	-64.6	-70.6	-66.7	-53.4	-47.3	-27.7	-47.3	-68.4	0.0

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	同業者間の競合	人 件 費 増	人 材 不 足
建 設 業	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増
卸 売 業	同業者間の競合	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	人 材 不 足	人 件 費 増
小 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	売掛金回収難	人 材 不 足
サービス業	諸 経 費 増	同業者間の競合	得 意 先 減 少	人 件 費 増	人 材 不 足
合 計	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

○前年同期比

全ての業種で「得意先減少」「同業者間の競合」「諸経費増」がトップ3を占めており、全体合計でもこの3項目が1～3位となった。

前年同期と比較すると、業種によっては若干の入れ替わりがあるものの、全体合計における順位は1～5位まで全て同じであり、特に回答の多い「得意先減少」や「同業者間の競合」は北見市における慢性的な課題になっていることが伺える。

※その他及び具体的な業界の問題点の記載事項

- (製造) ○デフレによる価格下落で諸経費が確保できなくなり、
事業継続が困難になってきている (建設用金属製品)
- (建設) ○公共工事の減少 (土木)
○雹災害によって仕事が増え、短期的な人手不足が発生 (板金)
- (卸売) ○原料の不足 (青果物販売)
○原発問題により米が値上がりし、売上が伸びない (米穀)
○競合店の新規出店 (作業服・事務服)
○原材料高騰による仕入価格上昇を販売価格に転嫁できない (肥料)
○消防法の改正による設備投資 (石油販売)

業況

※太字アンダーラインは重複該当

- 製造業 ⇒ 好転（重複該当なし、食肉加工、松製材、一般機械）
悪化（重複該当なし、印刷、木製家庭用品、建設用金属製品）
- 建設業 ⇒ 好転（重複該当なし、舗装・一般土木、一般住宅建築、電気工事、
一般土木・給排水・衛生・暖冷房）
悪化（重複該当なし、土木・とび土工、塗装、管土木、板金）
- 卸売業 ⇒ 好転（石油製品、製材、作業服・事務服、家電、三月五月人形・菓子・玩具）
悪化（重複該当なし、青果物委託販売）
- 小売業 ⇒ 好転（重複該当なし、生鮮食品）
悪化（重複該当なし、衣料品、自動車、画材）
- サービス業 ⇒ 好転（ホテル（宿泊）、自動車賃貸）
悪化（重複該当なし、クリーニング、理容）